

コクゾウムシとアズキゾウムシ

東京の
生活害虫

4



●コクゾウムシ成虫(体長約3mm)



●アズキゾウムシ成虫(体長2~3mm)



●アズキのゼリーに混入していたアズキゾウムシ

コメやアズキは案外に虫がつきやすいものです。その多くは、小さな甲虫のなかまです。

コクゾウムシ

“お米につく虫”として昔から有名です。成虫の体長は3mm前後、紡錘型をした黒褐色の小さな甲虫で、よく見ると象の鼻のような長い口(口吻)をしています。

成虫・幼虫ともにコメやムギに被害を与えます。幼虫は白いウジ状で、穀粒の内部で成長します。

ときどきタタミから発生することがありますが、これは畳床のワラに穀粒が残っていたためです。

アズキゾウムシ

長く貯蔵されたアズキによく発生する虫です。成虫は体長2~3mmで赤褐色、室内を飛んでいるのがよく見つかります。幼虫はアズキの内部で成長し豆を穴だらけにします。

成虫になるまでの期間が短いため、短期間で大量に発生することがあります。

防除

コメやアズキの長期保管は避け、早めに使用します。保管する場合は容器を密閉し、なるべく低温に保ちます。被害を受けたコメなどは良く陽に干します。

